

ウクライナ1000万人避難

人口の4人に1人

ロシア軍によるウクライナ侵略で市民の被害が増大しており、ウクライナ国連難民高等弁務官は20日、ウクライナ国内外での避難民が1000万人を超えたと

ロシアマリウポリ投降要求

ウクライナは拒否



市外に避難する市民(20日、ウクライナ南部マリウポリ(ロイター))

ツイッターで明らかにしました。人口4200万人のウクライナで、約4人に1人が避難を強いられることになりました。徹底的に破壊されている南部マリウポリでは、ロシア軍がウクライナ軍に投降を要求。2月24日の侵攻開始から1カ月が経過しようとする中で、重大な事態が続いています。

- ① 日本各地で反戦行動
- ② 核実験に分析家は
- ③ 独で反戦コンサート
- ④ 沖縄の留学生が支援

「ワルシャワ」時局
ウクライナに侵攻したロシア軍は包囲する南東部マリウポリの餓民を追い、攻勢を強めました。ロシア国防衛はウクライナ軍に対し、武器を捨てて投降し、市外に出るよう要求。21日朝を回る期限となりましたが、ウクライナ側は撤退を拒み続けました。「最後通告」の受け入れ拒否を理由にロシア軍が繰攻撃に出る恐れが出ています。

ロシア国防衛は20日、「戦闘行為を停止して武器を撤去し、人道回廊を通じて撤退するよう求める。(心じた)全編が安全な脱出と生命を保障される」と通告。これに対し、ウクライナのペレンチュク副首相は「各地で反戦行動(1)核実験に分析家は(2)独で反戦コンサート(3)沖縄の留学生が支援(4)は地元メディアに「投降はあり得ない。ロシア側は既に伝えた」と述べました。ロシア軍はマリウポリで無差別攻撃を続けており、19日には約400人が避難していた可能性がある。学校が爆撃を受けました。16日にでも劇場が爆撃され、多数が地下に閉じ込められたとされますが、激しい砲撃で救出作業は難航しています。

ました。
ウクライナのゼレンスキー大統領は21日、美英米に避難中の人々が「がれきの下」にいて、何人生存しているか分からない」と説明しました。
マリウポリは黒海へ続くアンフ海に面した要衝。ロシア軍の包囲が続く中、約40万人の住民の多くが市外へ逃げられず、危機的な状況に陥っています。首都キエフでも20日夜に商業施設が爆撃を受け、建物の一部で火災が起きました。救助当局によれば、4人が死亡しました。